



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月1日

上場会社名 株式会社 ニックトー

上場取引所 東

コード番号 5367 URL <https://www.nikkato.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 宏司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 濱田 悦男

TEL 072-238-3641

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,301	9.8	542	0.9	572	0.0	396	0.5
2022年3月期第2四半期	4,828	16.7	547	326.6	572	191.9	394	195.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	33.19	
2022年3月期第2四半期	33.01	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	16,603	11,959	72.0	1,001.98
2022年3月期	16,534	11,786	71.3	987.52

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 11,959百万円 2022年3月期 11,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		8.00		12.00	20.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				11.00	21.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	5.2	1,000	2.9	1,040	1.2	720	7.2	60.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	12,135,695 株	2022年3月期	12,135,695 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	200,238 株	2022年3月期	200,238 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	11,935,457 株	2022年3月期2Q	11,935,529 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表等に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間は、引続き内外の不安定な情勢による、エネルギーおよび原材料価格の高騰により、利益率の低下を余儀なくされ、総じて厳しい環境下にあったものの、販売価格への転嫁も徐々に浸透し、結果安定した受注環境も奏功し、大幅に業績予想を上回るものとなりました。しかしながらウクライナ危機の長期化や米中摩擦の悪化、世界的なインフレ加速懸念等々予断を許さない状況下でもあり、今後さらなる影響も懸念されます。

このような状況の中、当社セラミックス事業の売上高は前年同期比9.2%増収の4,101,903千円となり、エンジニアリング部も11.8%増収の1,199,003千円となりました。結果、当第2四半期の売上高は前年同期比9.8%増収の5,300,906千円となりました。

損益面につきましては、セラミックス事業は増収となりましたが、原材料価格等の高騰により売上原価率が0.7ポイント上昇したことなどによりセグメント利益は前年同期比3.2%減の499,777千円となりました。エンジニアリング事業は増収効果が大きくセグメント利益が前年同期比39.4%増の42,114千円となりました。この結果、営業利益は前年同期比0.9%減の541,892千円、経常利益は前年同期比ほぼ同額の571,854千円、四半期純利益は0.5%増の396,178千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期の財政状態については、総資産が前期末比0.4%増の16,602,720千円となりました。内訳として流動資産が前期末比3.9%増の9,981,368千円となり主に棚卸資産が7.9%増の2,971,323千円であり受注増加により仕掛品や原材料が増加したものであります。また、固定資産が前期末比4.4%減の6,621,352千円となり、主に減価償却により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は前期末比2.2%減の4,643,599千円となりました。内訳として流動負債が前期末比1.1%増の3,709,391千円、固定負債が前期末比13.4%減の934,207千円となりました。流動負債の主な増加要因としては受注増により原材料等の購入が増加したことによる仕入債務の増加であり、固定負債の主な減少要因としては長期借入金の返済によるものであります。

純資産は前期末比1.5%増の11,959,121千円となりました。内訳としては株主資本が前期末比2.2%増の11,511,755千円となり、主に利益剰余金が前期末比2.9%増の9,053,242千円であり、これは繰越利益剰余金の増加によるものであります。また、評価・換算差額等は前期末比15.2%減の447,365千円となり、これは投資有価証券の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は3,333,636千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、原材料価格等の高騰により利益率は低下しましたが、販売価格への転嫁の浸透などにより増収となりました結果、税引前四半期純利益は前年同期比ほぼ同額の571,482千円となりました。一方で棚卸資産が217,071千円増加、また前年度の増益に伴い法人税等の支払額が前年同期比126,120千円増の

207,523千円となりました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは365,615千円となり前年同期比245,604千円収入が減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得が108,931千円の支出となりました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△113,056千円と前年同期比243,309千円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済132,696千円、配当金の支払い143,359千円を行いました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△276,806千円と前年同期比91,901千円支出が増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度における業績予想を上方修正いたしました。これは昨今のエネルギーや原材料価格の高騰等ありますが、販売価格への転嫁が徐々に浸透してきたこと、また、環境を意識した生産効率や生産性の改善もあり、今般の修正といたしました。しかしながら現下の情勢はウクライナ危機の長期化、米中摩擦の悪化、世界的なインフレ懸念等々非常に厳しい状況下であり、様々な要因が複雑に影響し合い、「不確実性」が益々高くなっていくものと思われませんが、今やるべきことをやり、社会課題や環境問題への取組も合わせて、引続き「CONNECT25」を推し進めてまいります。また、ウイズコロナ下の企業活動も意識し、企業価値向上および持続的な成長に努めてまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,357,885	3,333,636
受取手形、売掛金及び契約資産	3,458,294	3,644,436
商品及び製品	1,094,827	1,019,061
仕掛品	1,296,821	1,377,955
原材料及び貯蔵品	362,602	574,305
その他	36,253	31,972
流動資産合計	9,606,685	9,981,368
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,416,247	2,367,540
機械及び装置(純額)	1,264,972	1,165,520
その他(純額)	1,177,507	1,195,217
有形固定資産合計	4,858,727	4,728,278
無形固定資産		
	189,198	170,445
投資その他の資産		
投資有価証券	1,754,621	1,626,121
その他	124,497	96,506
投資その他の資産合計	1,879,119	1,722,628
固定資産合計	6,927,044	6,621,352
資産合計	16,533,730	16,602,720
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	434,796	412,021
買掛金	1,524,689	1,707,827
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	256,892	237,892
営業外電子記録債務	52,318	90,545
未払金	279,966	275,844
未払法人税等	228,015	203,840
賞与引当金	266,300	285,700
役員賞与引当金	28,385	14,192
その他	196,908	81,527
流動負債合計	3,668,272	3,709,391
固定負債		
長期借入金	756,128	642,432
役員退職慰労引当金	95,022	103,158
資産除去債務	60,992	61,024
繰延税金負債	97,658	45,421
その他	69,195	82,171
固定負債合計	1,078,997	934,207
負債合計	4,747,269	4,643,599

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438
利益剰余金	8,800,288	9,053,242
自己株式	△87,665	△87,665
株主資本合計	11,258,802	11,511,755
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	527,657	447,365
評価・換算差額等合計	527,657	447,365
純資産合計	11,786,460	11,959,121
負債純資産合計	16,533,730	16,602,720

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,827,655	5,300,906
売上原価	3,633,447	4,021,577
売上総利益	1,194,208	1,279,328
販売費及び一般管理費	647,654	737,436
営業利益	546,554	541,892
営業外収益		
受取利息	626	634
受取配当金	26,548	31,066
その他	8,401	8,463
営業外収益合計	35,576	40,165
営業外費用		
支払利息	4,917	4,115
コミットメントフィー	4,899	4,604
その他	692	1,483
営業外費用合計	10,509	10,203
経常利益	571,621	571,854
特別損失		
固定資産廃棄損	248	371
特別損失合計	248	371
税引前四半期純利益	571,372	571,482
法人税、住民税及び事業税	147,000	185,000
法人税等調整額	30,324	△9,696
法人税等合計	177,324	175,303
四半期純利益	394,047	396,178

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	571,372	571,482
減価償却費	331,871	305,954
受取利息及び受取配当金	△27,175	△31,701
支払利息	4,917	4,115
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,172	△575
前払年金費用の増減額(△は増加)	4,439	24,170
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△87,951	8,135
固定資産廃棄損	248	371
売上債権の増減額(△は増加)	△276,677	△186,141
棚卸資産の増減額(△は増加)	82,550	△217,071
その他の資産の増減額(△は増加)	1,362	4,998
仕入債務の増減額(△は減少)	48,678	160,363
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,045	△134,912
その他の負債の増減額(△は減少)	31,541	36,352
小計	669,958	545,541
利息及び配当金の受取額	27,175	31,701
利息の支払額	△4,511	△4,105
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△81,403	△207,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,219	365,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△356,271	△108,931
無形固定資産の取得による支出	△28,499	△13,507
投資有価証券の取得による支出	△418	-
投資有価証券の売却による収入	1,853	6,241
投資その他の資産の増減額(△は増加)	26,968	3,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356,366	△113,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△124,196	△132,696
自己株式の取得による支出	△79	-
リース債務の返済による支出	△750	△750
配当金の支払額	△59,878	△143,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,905	△276,806
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69,948	△24,248
現金及び現金同等物の期首残高	2,676,471	3,357,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,746,420	3,333,636

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,754,879	1,072,776	4,827,655	4,827,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,754,879	1,072,776	4,827,655	4,827,655
セグメント利益	516,335	30,219	546,554	546,554

当第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	セラミックス事業	エンジニアリング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,101,903	1,199,003	5,300,906	5,300,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,101,903	1,199,003	5,300,906	5,300,906
セグメント利益	499,777	42,114	541,892	541,892